

日 本 国 際 貿 易 促 進 協 会

THE ASSOCIATION FOR THE PROMOTION OF INTERNATIONAL TRADE, JAPAN

東京都千代田区神田 2-14-4
内神田ビルディング 5階 〒101-0047
5th Uchikanda Bldg. 4-14, Uchikanda 2-chome,
Chiyoda-ku TOKYO, JAPAN

Phones : 03 (6285) 2626
Facsimile : 03 (6285) 2940
<https://www.japit.or.jp>

国貿協第 22-040 号
2022 年 8 月 1 日

各位

日本国際貿易促進協会
理事長 笠井燾雄

シンポジウム「日中経済の新動向とグローバルサプライチェーンの再編」開催のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より当協会の諸事業に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当協会はシンポジウム「日中経済の新動向とグローバルサプライチェーンの再編」を下記要領で開催いたします。

ご高承の通り、ロシアのウクライナ侵攻等により、世界経済は激動の時代を迎えています。グローバル化に伴い構築された分業体制とサプライチェーンの再編が検討される一方、深く根付いた経済協力体制が各国に恩恵をもたらしてきたことも事実であり、経済界は今後どのように対応していくべきかの模索が続いています。

このような中、日中両国は国交正常化 50 周年を迎えました。この 50 年、特に中国の改革開放政策後の日中経済協力の成果は顕著であり、日本と中国はそれぞれが GDP 第 3 位、第 2 位の経済大国となり、緊密な協力体制が構築されています。一方、政治体制や価値観が異なる中国が台頭してきたことにより、アメリカを中心とした各国の懸念が高まり、デカップリングの動きが加速しつつあるのも事実です。

このような過去の成功体験と現実、未来への懸念を経済界はどのように受け止め、行動すればよいのでしょうか。本シンポジウムでは（一財）日本総合研究所会長の寺島実郎先生に基調講演をいただくほか、各界から専門家をお招きしてミクロ・マクロの両面から分析し、今後のあるべき経済協力についての一つの指針を示す予定です。

つきましては、ご多忙のこととは存じますが、本シンポジウムにご参加賜りたくここにご案内申し上げます。尚、お申込は添付の参加申込書にご記入の上、下記専用アドレスに返送をお願いします。

敬具

記

日時：2022 年 9 月 27 日（火）14：00～17：00

会場：フォーシーズンズホテル東京大手町「グランドボールルーム」

住所：千代田区大手町 1-2-1 電話：03-6810-0634

主催：日本国際貿易促進協会

協賛：全日本空輸株式会社 日本航空株式会社 華為技術日本株式会社

みずほ銀行 三井住友銀行 三菱 UFJ 銀行 （五十音順）

費用：無料（定員）300 名

お申込：申込書にご記入の上、symposium@japit.or.jp にご返送ください。

問合せ：日本国際貿易促進協会
業務部長 泉川友樹
電話：03-6285-2627

シンポジウム

「日中経済の新動向とグローバルサプライチェーンの再編」

2022年9月27日（火）14：00～17：00

於：フォーシーズンズホテル東京大手町「グラントホールルーム」

次 第

開会あいさつ

河野洋平 日本国際貿易促進協会会長

基調講演

講師：寺島実郎 一般財団法人日本総合研究所会長

演題「世界史の転換点に立って」

パネルディスカッション

講師：吉崎達彦 双日総合研究所チーフエコノミスト

テーマ「米中関係の行方と日本の進路」

倉澤治雄 科学ジャーナリスト

テーマ「科学技術分野での米中競争と日中関係」

柯隆 東京財団政策研究所主席研究員

テーマ「中国経済の展望とグローバルサプライチェーンの再編」

コーディネーター：伊藤洋一 経済評論家

2022年7月28日現在

発言者略歴：



寺島実郎（てらしま・じつろう）

（一財）日本総合研究所会長、（一社）寺島文庫代表理事
1947年北海道生まれ。1973年早稲田大学大学院政治学研究科修士課程修了。同年三井物産(株)に入社。1994年『新経済主義宣言』（新潮社）で第15回石橋湛山賞受賞。1999年(株)三井物産戦略研究所所長。2006年三井物産(株)常務執行役員。2009年多摩大学学長。2014年（一社）寺島文庫代表理事。2016年（一財）日本総合研究所会長。TBS系列「サンデーモーニング」、TOKYO MX「寺島実郎の世界を知る力」等メディア出演多数。
近著に『ひとはなぜ戦争をするのか 脳力のレッスンV』（岩波書店、2018年）、『日本再生の基軸 平成の晩鐘と令和の本質的課題』（岩波書店、2020年）『人間と宗教 あるいは日本人の心の基軸』（岩波書店 2021年）ほか



吉崎達彦（よしざき・たつひこ）

（株）双日総合研究所、チーフエコノミスト
1960年富山県生まれ。1984年一橋大学社会学部卒、日商岩井(株)入社。米ブルッキングス研究所客員研究員、経済同友会代表幹事秘書・調査役などを経て企業エコノミストに。日商岩井とニチメンの合併を機に2004年から現職。
著書 『アメリカの論理』『1985年』『気づいたら先頭に立っていた日本経済』（新潮新書）、『オバマは世界を救えるか』（新潮社）、『溜池通信 いかにもこれが経済』（日本経済新聞社）など。ウェブサイト『溜池通信』（<http://tameike.net>）を主宰。
テレビ東京『モーニングサテライト』、NHK ラジオ第一『マイあさ！』などに定期出演。フジサンケイグループから第14回正論新風賞を受賞。



倉澤治雄（くらさわ・はるお）

科学ジャーナリスト
1952年千葉県生まれ、開成高校卒。1977年東京大学教養学部基礎科学科卒業。1979年フランス国立ボルドー大学第3課程博士号取得(物理化学専攻)。1980年日本テレビ入社 北京支局長、経済部長、政治部長、報道局解説主幹など。2012年国立研究開発法人科学技術振興機構中国総合研究センターフェロー、副センター長など。2017年科学ジャーナリストとして独立
日本記者クラブ会員、日本科学技術ジャーナリスト会議副会長
著書『原発爆発』（高文研 2013年）『原発ゴミはどこへ行く』（リベルタ出版 2014年）『中国、科学技術覇権への野望』（中公新書ラクレ 2020年）ほか



柯隆（か・りゅう）

東京財団政策研究所主席研究員
1963年、中華人民共和国・江蘇省南京市生まれ。88年来日、愛知大学法経学部入学。92年、同大卒業。94年、名古屋大学大学院修士課程修了（経済学修士号取得）。長銀総合研究所国際調査部研究員（98年まで）。98～2006年、富士通総研経済研究所主任研究員、06年より同主席研究員を経て現職。
著書『「ネオ・チャイナリスク」研究：ヘゲモニーなき世界の支配構造』（慶應義塾大学出版会、2021）、『中国「強国復権」の条件』（慶應義塾大学出版会、2018。第13回 榎山純三賞）、『中国の統治能力』（共著）（慶應義塾大学出版会、2006）、『中国の不良債権問題』（日本経済新聞社、2007）、『チャイナクライシスへの警鐘』（日本実業出版社、2010）『爆買いと反日』（時事通信社、2015）など

返信先 : symposium@japit.or.jp 業務本部 泉川 行

シンポジウム「日中経済の新動向とグローバルサプライチェーンの再編」

2022年9月27日(火) 14:00~17:00

フォーシーズンズホテル東京大手町「グランドボールルーム」

参加申込書

締切 : 2022年9月20日(火)

| | | |
|----------|-------|-------|
| 会社名 | フリガナ | |
| | | |
| 住所 | 〒 | |
| TEL : | FAX : | |
| E-Mail : | | |
| | ご芳名 | 部署・役職 |
| 1 | フリガナ | |
| | | |
| 2 | フリガナ | |
| | | |

質問事項欄 :

<お問い合わせ先> 日本国際貿易促進協会 業務本部 泉川

東京都千代田区内神田 2-14-4 内神田ビルディング 5F TEL:03-6285-2627

【個人情報の取扱いについて】

当協会は、本件情報を厳重に管理のうえ、本シンポジウムのご案内及び今後当協会が主催または協力するセミナー・シンポジウムのご案内にのみ利用致します。

当協会は、貴社より案内停止の申し出をいただいたら直ちにご案内発送を停止致します。

JAPIT